

名 称	令和3年度第1回社会教育委員会議
日 時	令和3年6月24日(木) 14時00分～15時00分
場 所	市民情報センター 2階子育て情報室
出 席 者	別紙名簿のとおり 委員17名 事務局6名
内容及び 結果等	1. 開会(塩澤課長)
	2. 委嘱状交付 中村教育長より各委員に交付
	3. あいさつ ・中村教育長 ご多用中のところ、お集まりいただきありがとうございます。昨年より続くコロナ禍も、ワクチン接種がようやく軌道に乗りつつあり、一日も早い収束が待たれるところである。しかし、学校や家庭においては未だ困難な状況が続いている。学校ではコロナ対策に加え、ギガスクール構想によるICT教育の推進などの取組もあり、子どもたちだけでなく、教員の心身の健康も保ちながら課題に向き合っていく必要がある。また本市では現在コミュニティ・スクールの導入を進めており、令和5年度までに全校への導入を目指している。そのためには保護者や地域の皆様のご理解・ご協力が不可欠である。本日お集まりの皆様は、まさに学校と地域・家庭を結び付ける活動をされ、大きな役割を担っている方々である。今後とも力を貸していただきたい。
	本日は任期最初の会議ということもあり、この後事務局より社会教育委員についての説明もさせていただく。また補助金の審議等も予定されているので、ぜひとも活発な意見をいただけるようお願いする。
	4. 委員及び職員紹介 名簿順に自己紹介
	5. 正副委員長選出 (塩澤課長) 条例第5条により、委員長及び副委員長を委員の互選により決定したい。どなたかご推薦いただけますでしょうか。

<p>(竹澤委員) 昨年度はコロナの影響もあり、十分な活動ができなかった。山本委員長、斎藤・兼目両副委員長に継続していただき、コロナの収束とともに存分に力を発揮していただくのが良いと思う。</p>
<p>(塩澤課長) 他に推薦はないか。</p>
<p>(他委員) 異議なし。</p>
<p>(仲田課長) では、山本委員を委員長、斎藤委員と兼目委員を副委員長に決定する。委員長及び副委員長は席をご移動いただき、委員長よりごあいさつをお願いします。</p>
<p>(山本委員長) ただいま委員長を任された山本です。コロナのせいで、さまざまな団体の動きが鈍くなっているが、皆様内に秘めた思いあると思う。学びの歩みを止めないよう、行動はできなくても、頭は回転させ、アイデアを温めておいてほしいと思う。そして時期が来たら、存分に活動したいと思う。みなさまご協力よろしくお願いします。</p>
<p>6. 事務局説明</p>
<p>・「社会教育委員の役割」について</p>
<p>資料1に基づき事務局 鈴木より説明</p>
<p>7. 審議及び報告事項</p>
<p>(塩澤課長) それでは審議に入る。条例第6条第2項により、委員長に会議の議長をお願いします。</p>
<p>(1) 社会教育関係団体の補助金について</p>
<p>資料2に基づき事務局及び各団体代表の委員より資料説明を実施。</p>
<p>(山本委員長) 各団体の説明が終わりました。質問があればお願いします。</p>
<p>(竹澤委員) ボーイスカウトの資料に、会費の最高額が20万円とあるが、誰がいくら負担することになっているのか？</p>
<p>(吉澤委員) 20万円ではなく2万円が正しい。一般会員が2万円で、リーダーが1万円となっている。</p>
<p>(竹澤委員) PTAについて、今年度の関東ブロックはどこで開催されるのか？昨年度は中止だったと思うが。</p>
<p>(瓦井委員) 昨年度はオンラインでの開催。今年度は埼玉で開催予定。</p>
<p>(福田委員) ボーイスカウトの訓練というのは、どこで行っているのか？県内か県外か。</p>
<p>(吉澤委員) どちらもある。</p>

<p>(兼目委員) ボーイスカウトの会費について、幼稚園から高校まで一律の金額なのか？</p>
<p>(吉澤委員) その通りである。この中に連盟への登録費が含まれており、それを引いた残りが事業費に充てられる。</p>
<p>(斎藤委員) ボーイスカウトについて、県キャンポリー参加費35万円とあるが、内容や参加人数について教えてほしい。</p>
<p>(吉澤委員) 8月に西那須野で県のボーイスカウトが一斉に会してキャンプ等訓練を行う。参加人数は鹿沼からは15名程度。</p>
<p>(山本委員長) 他に質問が無ければ、原案通り可決して良いか。</p>
<p>(他委員) 異議なし。</p>
<p>(山本委員長) それでは可決する。</p>
<p>(2) 各団体役員を選出について</p>
<p>(事務局・鈴木) 県や市の各種団体より役員として社会教育委員の推薦を依頼されている。期限の問題もあり、事前に事務局より本人に内諾をいただく形で推薦をさせていただいたので、ご了承いただきたい。県社会教育委員協議会理事に斎藤委員、自然体験交流センター運営委員に兼目委員、社会福祉教委議会評議員に斎藤委員、人権啓発推進市民会議委員に手塚委員を推薦させていただいた。</p>
<p>(山本委員長) それでは、事務局から報告のとおり役員をお願いすることによろしいか。</p>
<p>(他委員) 異議なし。</p>
<p>(3) その他</p>
<p>(山本委員長) 社会教育委員の自主的活動について提案したい。コロナ禍の中で、学校や各種会議オンライン化が進んでいるが、我々も指導的立場にいるものとして積極的に取り組んでいく必要があると思う。ふらっとで講座を開催しているので、そちらを受講しても良いし、人数を集めて開催してもらってもよい。本会議をオンラインで開催しても良いと思う。</p>
<p>(神山委員) 今回社会教育委員を引き受けるにあたり、ホームページなどで調べてみたが、ほとんど情報が得られなかった。せっかく有意義な活動をしているのだから、もっと広く周知して、皆に認知してもらった方が良いのではないか。</p>
<p>(事務局・鈴木) 現状では、社会教委員研究大会での事例発表などでは報告しているが、広く一般の方への周知は不十分である。今後の参考にさせていただく。</p>
<p>8. その他</p>

	<p>(塩澤課長) その他として、まずは事務局から連絡事項をお願いする。</p> <p>(事務局・鈴木) 委員報酬、とちぎグローバルセミナー、県家庭教育・子育て支援関係者広域ネットワークについて説明。</p>
	9. 閉会
	以上
配布資料	会議次第、委員名簿、資料1～2、チラシ
次回予定	令和3年11月 第2回会議